

令和4年度  
**第56回 九州地区特別支援教育研究連盟 研究大会〈沖縄大会〉**  
**(同時開催) 第50回 沖縄県特別支援教育研究会 研究大会**  
 ～二次案内～

● **大会主題** **新しい時代に生きる力を育む特別支援教育の展開**  
 ～一貫性・系統性のある学びの保障をめざして～

● **開催趣旨**

近年の高度情報化やグローバル化といった急速な社会的変化、また新型コロナウイルスの流行に伴う社会構造の転換など、私たちはまさに予測困難な新時代に直面しています。そのような社会においても、子供たちが自らの生きる力を高め発揮し、主体的に社会へ参加できるように、特別支援教育においてはこれまで以上に質の高い教育の展開が求められています。

また今次の学習指導要領の改訂では、幼・小・中・高等学校の教育課程との連続性が重視され、知的障害教育においても育成すべき資質・能力の三つの柱に基づいて目標・内容が構造化され、各教科で段階ごとに目標が示されるなど内容の充実が図られました。今後は「多様な学びの場」実現のため、各学校において各教科等の指導を一層充実させるとともに、自立と社会参加に向けた一貫性・系統性のある学びを保障しなければなりません。

そこで今年度、本研究連盟では上記を大会主題に掲げ、参加者の皆さまと共にこの教育課題について考えます。

● **期 日** 令和4年11月10日(木)・11日(金)

● **会 場** オンライン (Zoomウェビナーおよびミーティング)

● **主 催** 九州地区特別支援教育研究連盟 沖縄県特別支援教育研究会  
 全日本特別支援教育研究連盟

● **後 援** 沖縄県教育委員会 浦添市教育委員会  
 福岡県教育委員会 佐賀県教育委員会 長崎県教育委員会 熊本県教育委員会  
 大分県教育委員会 宮崎県教育委員会 鹿児島県教育委員会

沖縄県特別支援学校校長会 沖縄県特別支援学級・通級指導教室設置校校長会  
 沖縄県特別支援学校PTA協議会  
 沖縄県情緒障害教育研究会 那覇・浦添地区中学校特別支援教育研究会

● **参加対象** 幼稚園・小学校・中学校・高等学校・特別支援学校等の教職員、保育園・こども園の職員、障害のある子を持つ保護者やご家族、そのほか特別支援教育に従事または関心のある皆さま

● **参加費用** 無料

● **定 員** 開会行事・記念講演・シンポジウム 各500名  
 分科会 各100名

● **日 程**

《1日目》 13:00 13:30 14:15 14:30 16:30 17:00 18:00

開場	開会行事	休憩	記念講演	休憩	交流会
	Zoomウェビナー				

《2日目》 10:00 10:30 12:00 13:00 13:15 14:45 15:00 16:30 17:00 18:00

開場	シンポジウム①	昼食	開場	第1～4分科会			休憩	第5～7分科会			アンケート	交流会
	シンポジウム②			提案① 支援学校	提案② 支援学級	提案③ 開催県		提案① 支援学校	提案② 支援学級	提案③ 開催県		
	Zoomウェビナー			Zoomミーティング				Zoomミーティング				

## ● シンポジウム

昨今の知的障害教育において特に関心が高い「教育課程」と「ICT活用」をテーマとして、九州各県の取り組みをご紹介いただき、専門家のアドバイスを受けながら協議をするプログラムです。（以下、敬称略）

### 《シンポジウム① 知的障害教育における教育課程》

共生社会の実現に向けたすべての子どもたちの可能性を引き出す  
学びの実現をめざした教育課程の在り方を考える

これまで知的障害特別支援学校や知的障害特別支援学級において、豊かな人生を切り拓く力の育成に重点をおき、実践研究を重ね、個別最適化と地域との連携を重視した教育の充実に努めてきた。

令和3年1月には、中教審答申『「令和の日本型学校教育」の構築を目指して～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～』が出され、我が国が目指す共生社会の実現に向けて、障害の有無に関わらず地域で豊かに生きていく力を育成するために、思考力・判断力・表現力の学力の三要素を大切に、個の視点からの連続性や、そのための組織の在り方や人材育成を推進し、開かれた教育課程を具体化していく実践が求められている。

そこで、本シンポジウムは、共生社会の実現に向けたすべての子どもたちの可能性を引き出すための教育課程の在り方について、九州各県における具体的な取り組み事例を共有しながら、学びの実現をめざすための機会としたい。

司会	沖縄県立大平特別支援学校 校長 大城政之
話題提供者	鹿児島大学教育学部附属特別支援学校 教頭 上仮屋祐介
	沖縄県立大平特別支援学校 主幹教諭 平良錦一郎
	熊本県立熊本支援学校 教諭 古川伊久磨
指定討論者	長崎市立伊良林小学校 教諭 土橋美咲
	長崎県教育庁特別支援教育課 課長 分藤賢之

### 《シンポジウム② 知的障害教育におけるICT活用》

GIGAスクール時代の特別支援教育におけるICT活用  
～学校と行政、両方の立場から考える～

2019年からのGIGAスクール構想によって、小・中学校や特別支援学校におけるICT環境の整備が急速に進められた。1人1台環境は令和の学校のスタンダードとなり、また計らずもコロナ禍を通してその必要性が高まったことで、さらに活用が広がっている。

こうした環境は特別支援教育においても「特別な支援が必要な子供たちの可能性も大きく広げるもの」とされ、その活用と運用が期待されている。

本シンポジウムは、九州各県におけるGIGAスクール環境での模範的な取り組みや、ICT機器の導入・活用を通して明らかとなった課題を共有することで、今後の九州地区の特別支援教育におけるICT活用のさらなる普及と、課題解決に向けた取り組みが進むことを期するものである。

司会	沖縄県立総合教育センター 指導主事 知念元喜
話題提供者	大分県教育庁特別支援教育課 指導主事 桑野稔
	北九州市教育委員会特別支援教育課 指導主事 宮里祐輔
	宮崎県立日向ひまわり支援学校 指導教諭 飯干知子
指定討論者	佐賀立小中一貫校松梅校 教諭 木田啓二
	帝京大学教育学部初等教育学科 教授 金森克浩

- シンポジウム①と②は、それぞれ同じ時間帯に実施されます。参加申し込みの際、関心のあるテーマのものを選択してご登録ください
- 各シンポジウムの定員は「500名」で、定員に達し次第申し込みを締め切ります
- 当日参加いただけないシンポジウムについても、後日大会参加者へ限定公開するオンデマンド配信にて、内容をご視聴いただけます

● 分科会

本研究大会では、5つの分科会と開催県が独自に設定する2つの分科会において、それぞれ特別支援学校と特別支援学級、また開催県より1件ずつの提案をいただきます。また提案後は、分科会ごとのテーマに沿った協議が行われ、専門家による指導助言を受けます。

分科会	テーマ	登壇者および係 ※敬称略
第1分科会 日常生活の指導	学習・生活上の困難さに 応じた個別指導の工夫	<p>《提案》            熊本県立松橋西支援学校 教諭 前嶋礼王            福岡県宗像市立東郷小学校 教諭 島本由佳            豊見城市立とよみ小学校 教諭 伊敷清香</p> <p>《司会》            沖縄県立西崎特別支援学校 主幹教諭 新垣安志            熊本県立天草支援学校 教諭 東天童</p> <p>《記録》            豊見城市立とよみ小学校 教諭 高良恵理子            糸満市立糸満中学校 教諭 国吉祐子</p> <p>《運営》            沖縄県立西崎特別支援学校 教諭 上地清美・竹中敬喜</p> <p>《指導助言》            熊本県教育庁特別支援教育課 指導主事 木下敏英            沖縄県立宮古特別支援学校 校長 下地靖子</p>
第2分科会 生活単元学習	児童生徒の自然な生活 としてのまとまりのある 学習の展開	<p>《提案》            大牟田市立大牟田特別支援学校 教諭 彌永亮輔            唐津市立竹木場小学校 教諭 北口定吉            浦添市立神森小学校 教諭 池原さつき</p> <p>《司会》            沖縄県立名護特別支援学校 教諭 饒波寛            大牟田市立大牟田特別支援学校 主幹教諭 坂口洋章</p> <p>《記録》            宜野座村立宜野座中学校 教諭 大城華子            名護市立屋部小学校 教諭 比嘉恭子</p> <p>《運営》            沖縄県立名護特別支援学校 教諭 諸見里知恵</p> <p>《指導助言》            大牟田市教育委員会学校教育課 指導主事 寺本健彦            沖縄県立島尻特別支援学校 校長 中山充雄</p>
第3分科会 教科別の指導	主体的・対話的で深い 学びの視点を踏まえた 教科別指導の工夫	<p>《提案》            佐賀大学教育学部附属特別支援学校 教諭 永石浩・後藤滋夫            諫早市立森山東小学校 教諭 松藤由美            宮古島市立平良中学校 教諭 楚南沙織</p> <p>《司会》            沖縄県立沖縄高等特別支援学校 教頭 前川孝治            佐賀県立大和特別支援学校 教諭 松本展明</p> <p>《記録》            那覇市立寄宮中学校 教諭 前田久枝            宮古島市立久松小学校 教諭 新城裕子</p> <p>《運営》            沖縄県立沖縄高等特別支援学校 教諭 古川誠</p> <p>《指導助言》            佐賀県教育庁特別支援教育室 指導主事 岡本欣吾            沖縄県立美咲特別支援学校 校長 粟國静夫</p>
第4分科会 作業学習・進路学習	卒業後の自立と社会参加 に向けた学習の在り方	<p>《提案》            長崎県立虹の原特別支援学校 教諭 平山拓也            豊後大野市立清川中学校 教諭 佐藤久枝            沖縄県立大平特別支援学校 教諭 新垣賢悟</p> <p>《司会》            沖縄県立美咲特別支援学校 教諭 川平長作            長崎県立虹の原特別支援学校 主幹教諭 堀江勇治</p> <p>《記録》            読谷村立喜名小学校 教諭 三崎美鈴            読谷村立読谷中学校 教諭 村上勝人</p> <p>《運営》            沖縄県立美咲特別支援学校 教諭 當山綾子</p> <p>《指導助言》            長崎県教育庁特別支援教育課 係長 中尾敏光            沖縄県立沖縄高等特別支援学校 校長 城間政次</p>

分科会	テーマ	登壇者および係 ※敬称略
第5分科会 自立活動	主体的に困難の 改善・克服に取り組む 自立活動	<p>《提案》 大分県立日田支援学校 教諭 三重野綾 日向市立平岩小中学校 教諭 加塩祐子 沖縄県立はなさき支援学校 教諭 立津佑美</p> <p>《司会》 沖縄県立はなさき支援学校 教諭 船越裕輝 大分県立竹田支援学校 教諭 小野美由紀</p> <p>《記録》 浦添市立内間小学校 教諭 山城徳子 那覇市立城東小学校 教諭 大城貢</p> <p>《運営》 沖縄県立はなさき支援学校 教諭 前泊大志</p> <p>《指導助言》 大分県教育庁特別支援教育課 指導主事 伊達洋介 琉球大学大学院教育学研究科 准教授 城間園子</p>
第6分科会 交流及び共同学習	心のバリアフリーのための 交流及び共同学習	<p>《提案》 宮崎県立みやざき中央支援学校 教諭 山口弘高 鹿児島市立田上小学校 教諭 徳留敦 沖縄県立島尻特別支援学校 教諭 知花朝彦</p> <p>《司会》 沖縄県立島尻特別支援学校 教諭 篠原辰典 宮崎県立みやざき中央支援学校 教諭 山本由紀</p> <p>《記録》 浦添市立内間小学校 教諭 真玉橋待子 那覇市立安謝小学校 教諭 大嶺喬</p> <p>《運営》 沖縄県立島尻特別支援学校 教諭 與那嶺達三</p> <p>《指導助言》 宮崎県教育庁特別支援教育課 指導主事 戸敷こずえ 沖縄県立はなさき支援学校 校長 濱元伸</p>
第7分科会 自閉症・発達障害 への支援	一人一人の障害特性に 応じた指導・支援 の在り方	<p>《提案》 鹿児島県立鹿屋養護学校 教諭 大坪佑徳 水保市立水東小学校 教諭 元山典一 沖縄県立宮古特別支援学校 教諭 池田健児</p> <p>《司会》 沖縄県立八重山特別支援学校 教諭 町田静香 鹿児島県立鹿屋養護学校 教頭 川添智博</p> <p>《記録》 石垣市立平真小学校 教諭 摩文仁亜希 石垣市立名蔵中学校 教諭 吉田小結紀</p> <p>《運営》 沖縄県立大平特別支援学校 教諭 名嘉信祐</p> <p>《指導助言》 鹿児島県教育庁特別支援教育室 指導主事 福山利克 沖縄県立西崎特別支援学校 校長 與儀達子</p>

- 第1～第4分科会および第5～7分科会は、それぞれ同じ時間帯に実施されます。参加申し込みの際、関心のあるテーマのものを選択してご登録ください
- 各分科会の定員は「100名」で、定員に達し次第申し込みを締め切ります
- 当日参加いただけない分科会についても、後日大会参加者へ限定公開するオンデマンド配信にて、内容をご視聴いただけます

#### 参加者へのお願い

- 研究大会の内容（オンデマンド含む）について、いかなる方法でも録画・録音はしないで下さい
- 申し込み後に提供されるZoom IDやパスワード、URLなどの情報を第三者と共有しないで下さい
- 事務局としてZoomへの接続等の技術的なサポートは一切行いません

上記の3点についてお申し込み時に同意の上、ご参加をお願い致します

またこの他にも、参加する際にご注意いただきたい点について  
適宜追加する場合があります、その際はご理解とご協力をお願い致します

## ● 記念講演

- (1) 演題 一人一人の子どもの自立と社会参加を見据えた教育課程の在り方  
～学びの一貫性・系統性を実現するためのポイント～
- (2) 講師 分藤 賢之 氏  
長崎県教育委員会 特別支援教育課 課長（前 文部科学省初等中等教育局 視学官）

所属学会  
日本特殊教育学会員  
日本肢体不自由教育研究会員  
関東自立活動研究会アドバイザー  
つくば自立活動研究会員

主な研究内容  
重複障害教育における教育課程、自立活動の指導、特別支援学校（肢体不自由）におけるカリキュラム・マネジメント ほか

### 最近の著書

- ・文部科学省『特別支援学校学習指導要領』，2017年4月
- ・分藤賢之・川間健之介・北川貴章『思考力・判断力・表現力を育む授業（肢体不自由教育実践 授業力向上シリーズ No.5）』，ジヤース教育新社，2017年11月
- ・文部科学省『特別支援学校学習指導要領解説（総則編・各教科等編・自立活動編）』，2018年3月
- ・文部科学省「障害のある子供の教育支援の手引」，2021年6月
- ・文部科学省初等中等教育局特別支援教育課「季刊特別支援教育〔特集〕教育支援資料の改訂」，No.82，東洋館出版，2021年6月

## ● 申し込み

- ・申し込み期間：令和4年8月31日(水)より ※定員に達し次第メ切
- ・以下のURLまたは右掲のQRコードよりお申し込みください
- ・大会ホームページ (<https://bit.ly/3ATiNFS>) にもお申し込みフォームへのご案内があります
- ・学校・グループでの申し込みはできません。必ず個人でお申し込みください

<https://bit.ly/3CF3oub>  
3シーエフ3オーユービー



## ● そのほか

- ・大会要項・提案原稿等については、9月下旬ごろに大会ホームページにて公開予定です。各自でダウンロードをお願い致します
- ・上記の原稿をご参照の上、各登壇者への**事前のご質問を10月末日まで**受け付けいたします。そのほか、当日の進行具合によっては参加者からのご質問をお受けする場合があります
- ・大会終了後、本研究大会の申し込み者に向けてオンデマンド配信を予定しています
- ・大会集録は希望者への送付となります。詳細は来年1月ごろに大会ホームページへ掲載いたします。
- ・ご不明な点は、下記の事務局までお問い合わせください

## 問い合わせ



沖縄県  
特別支援教育  
研究会

令和4年度 事務局  
山口飛・桑江広太  
徳森愛・玉城百合香  
廣渡善治・石川敦

TEL：098-877-4941 / FAX：098-876-4148  
MAIL：okitokuken@as.open.ed.jp  
沖特研HP：http://www.okitokuken-as.open.ed.jp  
研究大会HP：https://sites.google.com/ohira-sh.open.ed.jp/kyutokuren

